

2019年8月7日

東京2020オリンピック・パラリンピックまで約1年、実際の競技会場を舞台に エボルタNEOくんが「トライアスロン」走破 - 多くの声援を受け目標フィニッシュタイムをクリア -

パナソニック株式会社は、乾電池「エボルタNEO」の長もち性能の実証実験として、単3形乾電池を動力としたロボット「エボルタNEOくん」による「トライアスロン」にチャレンジし、目標フィニッシュタイムを上回る、1時間26分40秒で総距離5.15 kmを走破しました。この挑戦は2020年7月に開幕する東京2020オリンピック・パラリンピックまで約1年のタイミングに、実際にトライアスロン競技が行われるお台場海浜公園を舞台に実施。トライアスロン競技とその舞台となるお台場エリアも盛り上げました。



(左)ゴール後の喜びの1コマ。

(右)エボルタNEOくんの設計・制作を担当したロボットクリエイター・高橋智隆氏がエボルタNEOくんの誘導を担当。

※当社は、カルガリー1988冬季オリンピック以来、「TOP(最高位)※スポンサー」として約四半世紀にわたりオリンピックをサポートし続けています。(※TOP:「The Olympic Partner」の略。最高位のオリンピックスポンサーのこと。パリ2024オリンピックまでの長期パートナーシップ契約を締結済み。)

■「エボルタNEO トライアスロンチャレンジ」概要

- ・挑戦日:2019年8月7日(水)
- ・フィニッシュタイム:1時間26分40秒
- ※目標フィニッシュタイム:1時間45分01秒
- ※スタート時刻 12時00分・フィニッシュ時刻 13時26分40秒
- ・場所:お台場海浜公園(東京都港区台場)
- ・距離:スイム・150 m、バイク・4 km、ラン・1 kmの総距離5.15 km

■目標フィニッシュタイム設定の意図

オリンピックのトライアスロン競技は、スイム・1.5 km、バイク・40 km、ラン・10 kmの総距離51.5 kmで実施されます。また、トライアスロンが正式競技となったシドニー2000大会以降の5大会で、男子の最速タイムはリオデジャネイロ2016大会で記録された1時間45分01秒です。

エボルタNEOくんは身長約17 cm(青年男子の約1/10)のため、本チャレンジでは距離を上記オリンピック・ディスタンスの1/10に設定。オリンピックでの最速記録を上回る時間での完走を目指しました。



■ 主な挑戦のルール

- ・使用する電池は、単3形乾電池エボルタNEO 2本のみ。
- ・スタートしたら、フィニッシュまで電池の交換はできない。
- ・スイム機からバイク機、バイク機からラン機への“電池トランジション”にかかる時間も、走行時間としてカウントされる。
- ・チャレンジ中にマシントラブルが発生した場合は、メンテナンスが許される。ただし、メンテナンスの時間も走行時間としてカウントされる。
- ・エレベーターやエスカレーターの待ち時間、使用時間も走行時間としてカウントされる。
- ・信号待ちの時間は、走行時間としてカウントされない。

■ ロボットについて

スイム・バイク・ラン用に開発された3種のロボット「エボルタNEOくん」が、単3形乾電池「エボルタNEO」2本だけを動力に挑戦。

スイムロボット ... 本体 150 g 長さ(身長) 17 cm 幅(肩幅) 7 cm

バイクロボット ... 本体 291 g 長さ22 cm 高さ20 cm 幅12 cm

ランロボット ... 本体 440 g 長さ25 cm 高さ22 cm 幅10 cm

【材質】プラスチック、チタン、カーボン

※重さには乾電池2本(50g)は含まず。




■ 乾電池「エボルタNEO」について



従来の「エボルタ」を上回る長もち性能・高品質を実現した乾電池として2017年4月に発売し、累計約2.6億本を出荷しています。
(2019年6月28日現在)6月28日より、東京2020 オリンピック・パラリンピック 特別パック(単3形と単4形、各6本パックと10本パック)を限定発売しました。

■ 過去のチャレンジ

2008年5月	グランドキャニオンに挑戦		乾電池エボルタ	エボルタを動力にしたロボット「エボルタ」が、グランドキャニオンの断崖絶壁530.4 mを6時間46分31秒で登頂
---------	--------------	---	---------	--

2009年8月	24時間耐久走行に挑戦		乾電池 エボルタ	エボルタを動力にしたロボット「エボルタ」が、フランスのサーキットで24時間の耐久走行に成功 ギネス世界記録※1 「電池で動く遠隔操作された模型自動車が出た最長走行距離」
2010年9月 ～11月	東海道五十三次に挑戦		充電式 エボルタ	エボルタを動力にしたロボット「エボルタ」が、東京・日本橋から京都・三条大橋までの約500 kmを走破
2011年10月	トライアスロンに挑戦		充電式 エボルタ	エボルタを動力にしたロボット「エボルタ」がトライアスロンコース(スイム3.8 km、バイク180.2 km、ラン42.2 km、総距離約230 km)を166時間56分で完走
2012年12月 ～2013年1月	長もち 年越しチャレンジ		乾電池 エボルタ	エボルタを動力にしたポスタータイプのメカが、14日間ノンストップで142,460回のバーベル挙げに成功
2013年12月	世界最長レール 走破チャレンジ		乾電池 エボルタ	エボルタを動力にしたプラレール※2 E6系新幹線スーパーこまちが全長5.60844 km(レール26,667本)を走破 ギネス世界記録※3 「最も長いプラスチック製おもちゃのレール」
2014年11月	廃線 1日復活チャレンジ		乾電池 エボルタ	エボルタを動力にした総重量約1 tの列車が、約8.5 kmのコースを完走
2015年11月	世界最長距離 鉄道走行チャレンジ		乾電池 エボルタ	単1形乾電池エボルタ600本で世界最長距離鉄道走行を達成(22.615 km 所要時間2時間47分9秒) ギネス世界記録※4 「乾電池で走る車両が線路上を走行した最長距離」
2016年11月	世界最長距離 有人飛行チャレンジ		乾電池 エボルタ	単3形乾電池エボルタ640本を動力にした飛行機が、琵琶湖を3,531 m飛行
2017年7月	フィヨルド1,000 m 登頂チャレンジ		乾電池 エボルタ NEO	エボルタNEOを動力にしたロボット「エボルタNEOくん」がノルウェー リーセフィヨルド シェーラグ山のフィヨルドの断崖絶壁に張られたロープを1,000 m登る。記録:11時間26分09秒
2018年11月	世界最長遠泳 チャレンジ		乾電池 エボルタ NEO	単3形乾電池「エボルタNEO」2本を動力に、設計・製作された「エボルタNEOくん」(ロボット)が宮島口から厳島神社の大鳥居まで遠泳。記録:3.002 km ギネス世界記録※5 「一次電池(乾電池)でロボットが泳いだ最長距離」

※1:"Greatest distance by a battery powered remote-controlled model car on a single charge (RC)"として、2009年8月6日時点での記録認定。

※2:©TOMY「プラレール」は株式会社タカラトミーの登録商標です。JR東日本商品化許諾済。

※3:"Longest plastic toy train track"として、2013年12月14日に認定。

※4:"Longest distance traveled by a vehicle on a railway track powered by dry cell batteries"として、2015年11月3日に認定。

※5:"Longest distance swam by a robot on a single set of AA batteries"「一次電池(乾電池)でロボットが泳いだ最長距離」に、2018年11月10日認定。記録:3.002 km

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。